

## 通信ネットワーク工学科

平成 27 年度

科目名	特別講義Ⅱ Special LecturesⅡ			担当教員	佐田洋一郎, 岡野卓也				
学年	5年	学期	集中	履修条件	選択	単位数			
分野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	15235055	単位区別			
学習目標	知的財産権制度が何のために創設され、それが社会でどんな機能や役割を果たしているかを学習することにより、企業や技術者を守る法律であることを体感させる。更に特許情報・特許図面の役割を理解させるとともに、特許情報の検索方法を習得して、将来モノ作りや開発等に有効に活用できるスキルの取得を目指す。								
進め方	前半を佐田が、後半は岡野が担当する。発明品の実物や写真を用いて、知的財産が身近なものであることを体感させ、最後はテーマに沿ってグループでモノ作りやネーミングにチャレンジし、できあがった商品の売り込み、Gごとに競わせる。 プロジェクトを利用して座学と実習を行う。実習では、まず、プロジェクトの説明に合わせて学生各自がコンピュータを操作し、特許情報プラットフォーム（（独）工業所有権情報・研修館が提供する無料の特許情報検索システム）の利用方法を学習する。次いで、実習を通して特許情報プラットフォームを用いた特許情報検索方法を習得する。								
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標					
	1. 知的財産制度全般について(6)			歴史、仕組み、役割、機能、企業の活用実態全般について技術者として、知って置きたい知識を身につける。					
	2. 特許権、実用新案権の基礎（2）			特許権、実用新案権について基礎から応用までを学ぶ					
	3. 意匠権、商標権の基礎（1）			デザイン、ネーミング、ゆるキャラ等がどのように保護されているかを学ぶ					
	4. 著作権、種苗法、不正競争防止法等の基礎(1)			その他の知的財産権の保護の仕組みを学ぶ。					
	5. 外国特許取得の仕組み（1）			国際特許なるものはないため、必要と思う国ごとに権利を確保しなくてはならない仕組みを学ぶ					
	6. 特許紛争の実態（1）			特許権に絡む訴訟が、企業ではよく起きており、企業がどのように対応しているかの状況を学ぶ					
	7. モノ作り、ネーミングにチャレンジ（1）			テーマにそって、グループでモノ作り、商品のネーミングにチャレンジ、特許が取得できるモノ作りのコツを体感させる					
	8. 視聴覚教材学習 及び視聴後の感想（レポート提出）（2）			NHK製作の「日米特許戦争」のビデオ（60）で、企業の特許戦略の最前線を体感学习、視聴後のビデオの感想及び、知財授業を受ける前、受けた後の自分の考えかたの変化をレポートにまとめ提出。					
	9. 特許情報・特許図面(4) (1)役割・活用 (2)特許分類 (3)特許公報 (4)特許図面			特許情報・特許図面に関する基礎知識を習得する。					
	10. 特許情報検索(10) (1)特許電子図書館 (2)実習（特許調査・特許マップ）			特許情報プラットフォームを用いた特許情報の検索方法を習得する。					
評価方法	佐田：レポート35%，授業態度、演習の取り組み15% 岡野：確認テスト35%，授業態度、演習の取り組み15%の比率で評価する。								
履修要件	特になし								
関連科目									
教材	プリント資料（パワーポイント）等								
備考									

## 通信ネットワーク工学科

平成 27 年度

科目名	特別講義Ⅱ Special Lectures II			担当教員	佐田洋一郎, 川上 和秀			
学年	5年	学期	集中	履修条件	選択	単位数		
分野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	15235055	単位区別		
学習目標	知的財産権制度が何のために創設され、それが社会でどんな機能や役割を果たしているかを学習することにより、企業や技術者を守る法律であることを体感させる。更に、知的財産管理技能検定3級の資格を取得できる知識を習得させ、将来モノ作りや開発等に有効に活用できるスキルの取得を目指す。							
進め方	前半を佐田が、後半は川上が担当する。発明品の実物や写真を用いて、知的財産が身近なものであることを体感させ、最後はテーマに沿ってグループでモノ作りやネーミングにチャレンジし、できあがった商品の売り込みを、Gごとに競わせる。次いで、前半の講義で得た知識の定着のために知的財産管理技能検定3級公式テキストをベースとした受講者との対話形式の講義を行う。							
学習内容	<p>学習項目（時間数）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知的財産制度全般について(6)</li> <li>2. 特許権、実用新案権の基礎(2)</li> <li>3. 意匠権、商標権の基礎(1)</li> <li>4. 著作権、種苗法、不正競争防止法等の基礎(1)</li> <li>5. 外国特許取得の仕組み(1)</li> <li>6. 特許紛争の実態(1)</li> <li>7. モノ作り、ネーミングにチャレンジ(1)</li> <li>8. 視聴覚教材学習及び視聴後の感想(レポート提出)(2)</li> <li>9. 知的財産管理技能検定3級公式テキストをベースとした演習(15)           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 概論、特許・実用新案</li> <li>(2) 意匠、商標、条約</li> <li>(3) 著作権、その他</li> <li>(4) 総論</li> </ol> </li> </ol>			学習到達目標				
評価方法	佐田：レポート35%，授業態度、演習の取り組み15% 川上：確認テスト35%，授業態度、演習の取り組み15%の比率で評価する。							
履修要件	特になし							
関連科目								
教材	プリント資料(パワーポイント)等							
備考								

## 通信ネットワーク工学科

平成 27 年度

通信ネットワーク工学科

平成 27 年度

